

第20回 テクノフォーラム

機械技術を用いた福工連携の新しい試み 地域における障害対応と雇用機会の創出

9月29日(金)・東京ビッグサイト 102会議室

機械振興協会 技術研究所は、機械技術を用いて障害者の就労を促し、障害者が幸せに暮らせる社会の創造と、機械産業の発展をめざしています。

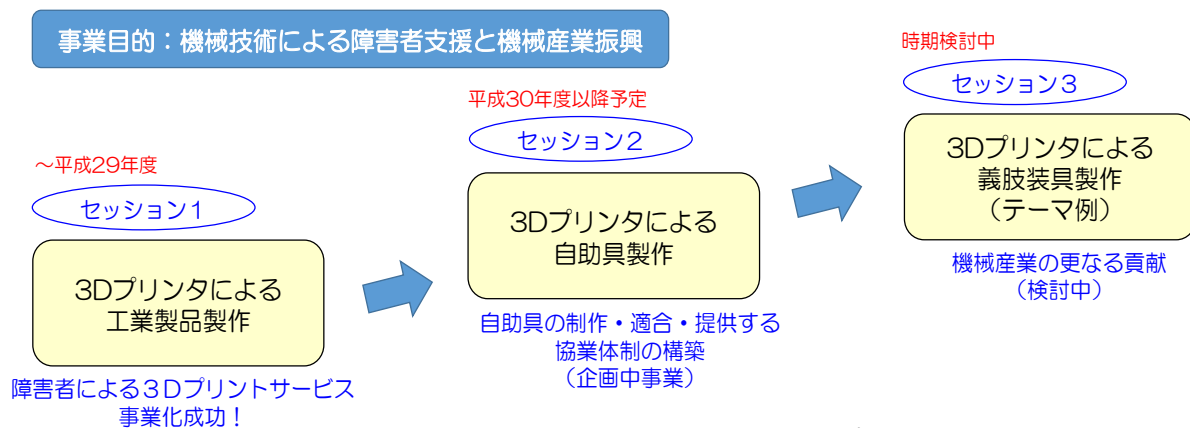
“セッション1：3Dプリンタによる工業製品製作”は、当所の3Dプリンタを障害者就労支援組織（A型、B型）に貸与し、中小事業者から仕事を受け、障害者が3D製品を製造しています。既に就労から収入を得る実績を重ねており、同様の取組み（例：事業者（発注）一公設試等（設備貸与と支援）一障害者組織（就労））を各地に広げます。

“セッション2：3Dプリンタによる自助具製作”は、リハビリテーションに通院中・退院後に速やかに自助具を制作・適合・提供をめざします。障害者（利用者）、作業療法士（支援者）、障害者就労支援組織（A型、B型）（作成）が協力して提供します。国立障害者リハビリテーションセンターの協力を検討中です。各地のリハセンター、就労支援組織等の参加募集を予定しております。

“セッション3：3Dプリンタによる義肢装具製作”では、義肢装具への3Dの活用を考えます。先進企業である(株)SHC デザイン（慶応大のベンチャー）から、今後の技術の可能性をご紹介します。

パネルディスカッションでは、機械技術を用いた福工連携につき、実績事例（セッション1）、近く開始（同2）、技術展望（同3）について議論します。

お問い合わせで、ご参加をお待ちしております。



機械振興協会の福工連携事業のロードマップ

- 開催日時：平成29年9月29日(金) 講演会 14:00～16:35（受付 13:30～）
懇親会 16:35～17:30
- 会場：東京ビッグサイト 会議棟1階 102 会議室（江東区有明 3-11-1）
- 主催：（一財）機械振興協会 技術研究所
- 後援：開発技術学会、（一社）日本機械学会、
（一社）日本生活支援工学会、（一社）日本リハビリテーション工学協会
- 定員：70名
- 参加費：講演会・懇親会共に無料（但し、下記 URL から事前申込必要）
- 申込方法：次 URL から参加お申込み → <http://www.ispmi.or.jp/tf20/>
- 申込期限：平成29年9月27日(水)



■ プログラム：

14:00～14:05 主催者挨拶

(一財) 機械振興協会 副会長 技術研究所 所長 足立 芳寛

【イントロダクトリー・トーク】

14:05～14:20 障害者就労を拓く機械技術

ー機械振興協会 技術研究所の取組みからー

(一財) 機械振興協会 理事 (日本福祉大学 客員教授) 後藤 芳一

【セッション1：3Dプリンタによる工業製品製作】

14:20～14:35 3D プリンタによる高付加価値な障害者就労

ー第1フェーズの総括とさらなる展開ー

(一財) 機械振興協会 技術研究所 技術開発センター

技術副主幹 藤塚 将行

【セッション2：3Dプリンタによる自助具製作】

14:35～14:50 適合を支援する技術としての3Dプリンタ

～臨床応用から見えてきた利点と課題～

国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 福祉機器開発部 福祉機器開発室

室長 硯川 潤

【セッション3：3Dプリンタによる義肢装具製作】

14:50～15:05 3Dプリント義肢装具製作の課題とビジネス化の取組み

(株)SHCデザイン 代表取締役・慶応義塾大学 特任助教 増田 恒夫

15:05～15:25 休憩

【パネルディスカッション】

15:25～16:30 パネルディスカッション

ー 機械技術を用いた福工連携の新しい試み ー

【パネラー】

(株)JMC 3D プリンター営業グループ 営業 高岡 弘

NPO 法人コイノニア 作業療法士 時田 良枝

国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 福祉機器開発部 福祉機器開発室長 硯川 潤

(株)SHCデザイン 代表取締役・慶応義塾大学 特任助教 増田 恒夫

(一財) 機械振興協会 技術研究所 技術開発センター 技術副主幹 藤塚 将行

【モデレーター】

(一財) 機械振興協会 理事 (日本福祉大学 客員教授) 後藤 芳一

16:30～16:35 閉会挨拶 (中締め)

(一財) 機械振興協会 副会長 寺田 範雄

16:35～17:30 懇親会 (無料)

17:30 閉場

※ 内容・講師等に変更が出る場合もございます。あらかじめご了承ください。

■ お問い合わせ先：(一財) 機械振興協会 技術研究所 企画管理室 (担当：木村)

TEL：042-475-1155 FAX：042-474-1980 E-mail：forum@tri.jspmi.or.jp

2017.08.31